

平成 23 年度 朝霧高原トレイルランニングレース大会
環境等対応報告書

静岡県立朝霧野外活動センター

1. 事業の実施について

平成 23 年 9 月 4 日（日）に実施をした、朝霧高原トレイルランニング大会は、台風 12 号の接近により、コースを短縮し、スタート時刻を繰り下げ実施した。

台風の通過状況をチェックしながら、前日に準備を行い、コースの確認をし、その結果、9 月 4 日早朝に大雨（土砂災害浸水害）警報は依然出ているものの、台風は通過し、朝霧では風雨が収まっていること、前日および当日朝コース状況を確認し、土砂災害等参加者の安全を損なう兆候は短縮したコース上には見られないことから、レースを実施した。ただし、落雷の兆候が見られる時には、レースを中断・中止することがある旨を伝え実施をした。なお、スタート時刻は 9:30 に、受付終了時刻は 9:00 に繰り下げた。

2. 短縮したコースについて

上記のような前日の確認の結果、コースについては地図、7.1km 地点以北および、麓地区以南の東海自然歩道及び、猪之頭地区から潤れ沢通過区間を外したため、結果として、以下の地図になった。結果として、環境や他の活動者に影響が大きいと思われるトレイル（シングルトラック）は麓地区・センター内のみとなった。

なお、ショートコースは CP1 を往復、ミドル・ロングコースは東海自然歩道の迂回路を使用し、7.1km ポイントを往復するコースとした。



3. 事業実施後のコースの状況について

事業終了後、利用したコースを巡回し、状況を確認した。

水たまりでは、コースを広がって走ることはなく複線化等、周囲への影響は見られなかった。(写真：東海自然歩道・道の駅周辺)



狭い道でのすれ違い箇所についても、レースによる複線化の影響は見られなかった。(写真：東海自然歩道・麓地区北側)



4. 誘導テープ・誘導プレートの回収について

レース終了後、スタッフがコースを巡回し、誘導テープ・誘導プレートの回収を行った。大会終了翌日に再度確認を行った。

5. ゴミについて

エイドステーション、コースについてレース終了後、スタッフがコースを巡回しゴミ拾いを行った。大会終了翌日に再度確認を行った。

6. 参加者への告知について

参加者に以下のような注意事項をプログラム、当日の会場掲示により告知、徹底を図った。

- ①ゴミの廃棄やトレイルのショートカットをした選手は失格にするとともに、その他自然保護に逸脱する行為の禁止。
- ②ハイキング・トレイルランニング用のストック杖の利用を禁止する。
- ③幅が狭い区間等での速度の違うランナーへの配慮と、譲り合いの精神、他の活動者への配慮を求める（特に挨拶と声かけ）。

また、スタート時には、上記の内容をコンパクトにし、自己の安全確保、他者の尊重、自然保護（ゴミを捨てない、ショートカットしない）を再度競技上の注意事項として参加者に周知・徹底を図った。

7. ハイカーへの配慮について

別紙チラシ「東海自然歩道を利用されるハイカーの皆様」を作成し、ハイカーへ配布をした。ただし、雨のため、ハイカーはおらず、実際には配布を行わなかった。

8. 近隣住民の方への配慮について

コース変更に伴い、富士宮市富士丘地区を往復するコースとなった。そのためコース変更の連絡が遅くなり、市道の使用について地元の方へご迷惑をおかけした。次回以降は、コース変更等を事前に周知を行っていく。その他、コース使用についての苦情等はなかった。

9. 次回以降の開催について

今回行った、環境配慮対策については、次回以降も継続し行っていく。また、参加ランナーへ環境配慮に関わる意識の向上について参加チラシ、プログラム、前日講習会などを通して、積極的に啓発をしていく。

なお、環境・他者・安全行動については、参加者の5%程度であるが、アンケートを回収した。

10. 参考資料

9月3日のコースの様子

●南部の涸沢の部分は写真のように、水量も多く、場所によっては腰まで水につかる状況であった。



①



②



③

●7.1km 付近から先は写真のように土砂が崩落していること、沢から増水した水が流れていることから、安全を確保できないと判断し7.1km 付近での折り返しでの実施とした。



④



⑤

●7.1km までの区間の一部では、元々のルートが水没しており、東海自然歩道迂回路を使用した。



⑥



⑦



⑧